

事業所名

児童発達支援事業所 <くる3

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和7年

1月

6日

法人（事業所）理念		子どもの療育を通して、未来を育み、社会に貢献する。						
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ・くる3が安心して過ごせる場所であるよう、個々の特性を受け入れた関わりをしていく。 ・児のペースに合わせ「できた!」という達成感の獲得が出来るよう、必要な関わりと最後まで見守る支援をしていく。 						
営業時間		9時	15分から	18時	15分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りのものを自分で始末できるよう、荷物置き場を絵カードや色の表示などで明確にしていきます。 ・健康に過ごせるよう、手洗い習慣を身につけます。泡で丁寧に洗うことを絵表示やスタッフが見本を見せるなどして繰り返し伝えていきます。 						
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・体操やリズムを通して様々な体の動きを経験し、繰り返し動きになれるよう支援していきます。 ・着席が出来たり、正しい姿勢を保てたりできるようサーキット遊びなど全身を使うような粗大運動を活動に取り入れていきます。 						
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単なルールのある遊びを提供していきます。その都度スタッフと言葉を交わしたり、絵カードなどを使用したりして理解へ繋げていけるよう工夫していきます。 ・片付けなどの活動の切り替わりの際には、いつも同じ音や「おしまい」のハンドサインなど取り入れて切り替わりを知らせていきます。 						
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・物と名前の一致を目的に、様々な言葉に触れられる活動を多く取り入れていきます。 ・挨拶など相手と同じ言葉を交わす簡単なやりとりから「好きな食べ物は何？」など質問に答えるようなやり取りなど経験し、会話の楽しさが味わえるよう支援していきます。 ・場面毎に「貸して」「どうぞ」「ありがとう」など身近な言葉のやりとりが経験できるようスタッフが丁寧に知らせていきます。 						
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・順番を守ったり、物の貸し借りをしたりスタッフを介して社会性の経験を積んでいきます。「できたね」と認めるような言葉を掛け自信へと繋げていくと共に、思い通りにいかなくて怒れてしまった時は児に寄り添い、悔しい気持ちに共感したり、前向きな言葉を添えたりし、児の気持ちに寄り添った支援をしていきます。 また、状況に応じ、相手の気持ちの代弁をすることで、相手理解に繋がるよう関わっていきます。 						
家族支援		事業所内相談にて、直接保護者様の意見を聞き、子どもの様子や困り事などから、支援へ繋がる内容を考えます。			移行支援		小学校就学を念頭に置き、着席の持続、ひらがなの読み書き、社会性の向上などを視野に入れた支援をしていきます。	
地域支援・地域連携		保健センターや社会福祉協議会、相談支援事業所などの関係機関と連携を図りながら、より良い発達を促していきます。			職員の質の向上		定期的な職員研修の実施や参加をします。また、外部の研修では学んだことの共有を行い、質の向上を図ります。	
主な行事等		季節にちなんだ活動（正月、節分、夏祭り、水遊び、クリスマス、散歩など） 避難訓練、不審者訓練						